

12月18日まで行われた市議会定例会において、以下の議案が審議され全会一致で可決しました。また、追加で提案された人選案件で、教育長に西川俊孝氏と教育委員2名が選任されました。主な内容を紹介します。

- ▶ 小中学校特別教室(図書室・音楽室等)に空調設備整備の事業契約
2021年度2学期から全校稼働予定。(小学校331室・中学校192室)
- ▶ 南吹田地域の地下水汚染に対する浄化措置を、吹田市と日立金属ネオマテリアルが協力して継続する調停案の受諾
- ▶ 各市民ホール、各コミュニティセンター、浜屋敷、武道館、総合運動場、花とみどりの情報センターの指定管理者の指定
- ▶ 消防の連携・協力を図るため、吹田市・豊中市・池田市・箕面市・摂津市の5市で共同消防指令センターを設置するための協議会を設置(吹田市に設置予定。2024年度運用開始予定)
- ▶ 私立小規模保育所を整備(垂水と千里山地域の2カ所)
- ▶ 国立循環器病研究センターの知見を活用した、心不全予防のための保健指導事業の実施
- ▶ 吹田市民病院への運営資金の貸付け(10億2千万円)
- ▶ 吹田市名誉市民条例の制定



新型コロナウイルス感染症 緊急対策アクションプラン

PCR検査等の
実施費用を補助

日本共産党
が要望し
実現

高齢者施設・障害者施設に



高齢者・障害者の入所施設において新型コロナ感染者が発生した場合、クラスター感染に繋がるリスクがある上、重症化・死亡するリスクが高いため、施設が新規入所者(ショートステイ含む)に対して行ったPCR検査代・抗原定量検査代を補助します。【費用の全額対象、一人あたり上限額2万円。2021年1月から事業開始】

日本共産党は質疑の中で、クラスターを防止するため新規入所者に限るのではなく、施設全職員に定期的なPCR検査を実施するよう、今後、更なる事業の拡充を求めました。



対象施設(通所施設除く)

- 高齢者施設
特別養護老人ホーム、認知症高齢者グループホームなど 96施設
- 障害者施設
障害者支援施設、グループホーム 29施設

ひとり親世帯への臨時特別給付金の再支給

1世帯5万円、第2子以降1人につき3万円

対象者 昨年6月分の児童扶養手当の支給を受けている方、新型コロナウイルス感染症の影響で直近の収入が児童扶養手当支給対象となる水準に下がった方など(既に給付を受けた方は申請不要です)。

※2020年12月25日に支給済。基本給付の申請を行っていない方は、2月26日までに申請してください。

吹田市に新型コロナウイルス感染症にかかわる緊急要望を申入れ

日本共産党市議会議員団は12月18日、吹田市に対し年末年始の対策などを含め、緊急の申入れを行いました。第3波と言われる新型コロナウイルス感染症が拡大しているなか、市民のくらしと営業、命と健康を守るため、行政の役割はますます重要になっています。

- 1 厳しさを増す経済状況の下、苦境に立たされている全ての事業者へ支援策を実施すること
- 2 食料支援等、学生支援を早急に実施すること
- 3 リーマンショック時と同様に、年末年始の本庁に相談窓口を設置すること
保健所の体制を強化し、市民の不安に応えること
- 4 必要に応じて臨時議会を開催すること



「少人数学級の実現を求める意見書」が全会一致で可決

日本共産党市議会議員団が提案



意見書では、子どもたちを取り巻く環境が大きく変化しているなか、教育の質の向上を図る必要性が高まっており、新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえると、緊急時においても全ての子どもたちの学びを保障することは喫緊の課題だと指摘しています。

文部科学省や中央教育審議会が、新しい生活様式を踏まえた少人数学級編成を可能とする教師の人材確保や、必要な施設整備を計画的に進めるべきと求めていることにふれ、政

府及び国会に対し、柔軟な学級編成や教職員配置による少人数学級の実現とともに、きめ細かな指導体制や施設等の環境整備に必要な予算措置を講じるよう求めています。

日本共産党は

11月議会の代表質問でも、政府が国民の声を受け少人数学級に動き出しているなか、吹田市独自でも、支援学級に在籍する児童を通常学級でもカウントするダブルカウントを行うなど、少人数学級実施に向けて取り組むべきと求めました。